

■さくらサーバ、コアサーバ：独自ドメインでのSMTP設定

SMTPホスト

さくら初期ドメイン (sample.sakura.ne.jp) または、レンタルサーバ名 (www数字.sakura.ne.jp)

さくらメアドのウィルスチェック

ウィルスチェック有効でもDKIM: Pass

※契約時のさくらサーバの種類によっては、www000.sakura.ne.jpがウィルスチェックサーバのfswv119.sakura.ne.jp (fswv119.sakura.ne.jp [IPアドレス])にリレーするのでNGになる事があり、その場合はウィルスチェックを無効にする。

コアサーバのウィルスチェック有効にした場合に、送信元IPが変わりDKIM認証が失敗する場合があります。

DKIMが失敗し「dkim=neutral (body hash did not verify) header=i=●●」となる場合、spfに「include:mx.valueserver.jp」を追加すると改善する場合があります。

さくらレンタルサーバで独自ドメインSMTPの注意点

独自ドメインを送信元にするには、暗号化を「無し」

※さくらレンタルサーバでは、独自ドメインでのSMTP接続の暗号化が使えません。

www有りドメインだけをサーバに登録している場合は、メアドが「sample@www.sample.com」のように「@www」になる。

※www無しドメイン「sample.com」をさくらサーバにドメイン登録すれば「sample@sample.com」でSMTP認証が可能になる。

さくらドメインコンパネの注意事項

DKIM公開鍵をtxtレコード登録で文字数255文字以内の制限がある。

鍵生成も1024bitで生成すれば230文字程度で生成される。

さくらサーバ

FluentSMTPプラグイン

さくらサーバ

Easy WP SMTPプラグイン

Easy WP SMTP 設定

SMTP 設定 追加設定 メールテスト

SMTP 構成設定

ホスティングプロバイダーにサイトのSMTP詳細を要求できます。ホスティングプロバイダーから提供されたSMTP詳細を使用して、次の設定を構成します。

送信元メールアドレス

sample@example.net

このメールアドレスは From (差出人) 欄で使用されます。

差出人名

サイト名

このテキストは「差出人」フィールドで使用されます

「送信者名」の置き換えを強制に設定すると、プラグインはメールごとに上記の「送信者名」を設定します。お問い合わせフォームプラグインを使用している場合は無効にしてください。お問い合わせメールが送信されたときにプラグインがフォームの「送信者名」を置き換えるのを防ぎます。

メールの「差出人名」が変更の場合、プラグインは上記の値を設定します。

オプション設定。このメールアドレスはメールの「送信元」フィールドで使用されます。「差出人」のメールを送信元の値として使用するには、空白のままにします。

代誌モード

有効にすると、プラグインは上記の「差出人メール」を「送信元メール」アドレスに置き換えます。他の「送信元メール」設定が存在しない場合、「送信元メール」は引き続き使用されます。このオプションは、「送信元メール」アドレスを指定する他のプラグインとの競合を避けることができます。「差出人メール」を「送信元メール」に置き換えます。

BCC メールアドレス

Optional. This email address will be used in the 'BCC' field of the outgoing emails. Use this option carefully since all your outgoing emails from this site will add this address to the BCC field. You can also enter multiple email addresses (comma separated).

SMTP ホスト

www.●●●.sakura.ne.jp

メールサーバ

暗号化形式

なし SSL/TLS STARTTLS

ほとんどのサーバーでは、SSL/TLS が推奨されるオプションです

SMTP ポート

587

メールサーバのポート番号

SMTP 認証

いい次 はい

このオプションは特に「はい」であるべきです

SMTP ユーザー名

sample@example.net

メールサーバのログインユーザー名

SMTP パスワード

Password

メールサーバのログインパスワード

注: 変更を保存をクリックすると、実際のパスワードがデータベースに保存され、メールの送信に使用されます。このフィールドは、例 (# anywpmtppassword #) に置き換えられます。これは、設定ページにアクセスできる場所があるたのパスワードを見ることがするために行われます (たとえば、パスワードフィールドのマスク解除プログラムを使用して) 。

Wordpress のご利用ありがとうございます。

バージョン 6.0.3

SMTPプラグイン設定例

Coreサーバ

WP Mail SMTPプラグイン

WP Mail SMTP

一般 メールテスト メールログ メールコントロール Alerts その他

ライセンス

ライセンスキーを使用すると、アップデートやサポートへのアクセスが可能になります。

ライセンスキー

WP Mail SMTP Lite を使用しています。ライセンスは必要ありません。楽しんでください。

To unlock more features, consider upgrading to Pro.

WP Mail SMTP Lite をご利用の際は、チェックアウト前に自動的に適用される\$50 割引を受けられます！

既に購入済み！以下にライセンスキーを入力するだけで、WP Mail SMTP Pro に接続できます！

ここにライセンスキーを貼り付けます

メール

設定ウィザード

セットアップウィザードを開始

サイトで WP Mail SMTP を完全にセットアップするための必要な各手順を説明します。

送信元メールアドレス

sample@example.net

メールの送信元となるメールアドレスです。メールプロバイダ (Yahoo, Outlook.com など) を使用している場合は、そのアカウントのメールアドレスになります。他のプラグインでも変更することができ、これを防ぐために以下の設定を使用してください。

このメールを強制使用に設定するとフォームの送信元を本設定で送信します。

このメールを強制使用

チェックをされると、上記の「このメールを強制使用」設定は、他のプラグインで設定された値を無視して、すべてのメールに使用されます。

フォーム名

サイト名

メールの送信元の名前です。

この名前を強制使用

チェックをされると、上記の「この名前を強制使用」の設定は、他のプラグインで設定された値を無視して、すべてのメールに使用されます。

送信先

送信元アドレスを送信先 (return-path) として設定

Return-Path は、配達不能の受信 (またはバウンスメッセージ) の送信元を示します。チェックしない場合、バウンスしたメールは廃棄されることがあります。

メーラー

デフォルト (無)

SendLayer SMTP.com sendinblue Amazon SES Google Mailgun Microsoft 365 / Outlook Postmark SendGrid SparkPost Zoho Mail その他SMTP

お探しのものが見つかりませんか？ [メニューを探索する](#)

その他のSMTP

その他の SMTP オプションを使用すると、プロバイダーの API を使用する代わりに、SMTP サーバーを介してメールを送信できます。これは簡単ですが、他のメーラーよりも送達率が低くなります。プロバイダーが大量のメールの送信を許可していない場合があることに注意してください。その場合は、別のメーラーを使用してください。

開始するには、次の他の SMTP ドキュメントをお読みください。

SMTP ホスト

●●●.coreserver.jp

暗号化

なし SSL TLS

ほとんどのサーバーでは TLS が推奨されています。SMTP プロバイダーが SSL と TLS の両方のオプションを提供している場合は、TLS の使用を勧めます。

SMTP ポート

587

認証

オン

SMTP ユーザー名

sample@example.net

SMTP パスワード

Password

パスワードはデータベースで暗号化されていますが、セキュリティを向上させるためには、サイトの Wordpress 設定ファイルを変更してパスワードを設定することをお勧めします。

さらに詳しく

変更を保存

WP Mail SMTP [Wordpress](#) で 6.0.3.0.0 の評価をお聞いします。WP Mail SMTP チームからの感謝状を致します。

バージョン 6.0.3

Coreサーバ

Easy WP SMTP

Easy WP SMTP 設定

SMTP 設定 追加設定 メールテスト

SMTP 構成設定

ホスティングプロバイダーにサイトのSMTP詳細を要求できます。ホスティングプロバイダーから提供されたSMTP詳細を使用して、次の設定を構成します。

送信元メールアドレス

sample@example.net

このメールアドレスは From (差出人) 欄で使用されます。

差出人名

サイト名

このテキストは「差出人」フィールドで使用されます

「送信者名」の置き換えを強制に設定すると、プラグインはメールごとに上記の「送信者名」を設定します。お問い合わせフォームプラグインを使用している場合は無効にしてください。お問い合わせメールが送信されたときにプラグインがフォームの「送信者名」を置き換えるのを防ぎます。

メールの「差出人名」が変更の場合、プラグインは上記の値を設定します。

「送信元」メールアドレス

オプション設定。このメールアドレスはメールの「送信元」フィールドで使用されます。「差出人」のメールを送信元の値として使用するには、空白のままにします。

代誌モード

有効にすると、プラグインは上記の「差出人メール」を「送信元メール」アドレスに置き換えます。他の「送信元メール」設定が存在しない場合、「送信元メール」は引き続き使用されます。このオプションは、「送信元メール」アドレスを指定する他のプラグインとの競合を避けることができます。「差出人メール」を「送信元メール」に置き換えます。

BCC メールアドレス

Optional. This email address will be used in the 'BCC' field of the outgoing emails. Use this option carefully since all your outgoing emails from this site will add this address to the BCC field. You can also enter multiple email addresses (comma separated).

SMTP ホスト

●●●.coreserver.jp

メールサーバ

暗号化形式

なし SSL/TLS STARTTLS

ほとんどのサーバーでは、SSL/TLS が推奨されるオプションです

SMTP ポート

587

メールサーバのポート番号

SMTP 認証

いい次 はい

このオプションは特に「はい」であるべきです

SMTP ユーザー名

sample@example.net

メールサーバのログインユーザー名

SMTP パスワード

Password

メールサーバのログインパスワード

注: 変更を保存をクリックすると、実際のパスワードがデータベースに保存され、メールの送信に使用されます。このフィールドは、例 (# anywpmtppassword #) に置き換えられます。これは、設定ページにアクセスできる場所があるたのパスワードを見ることがするために行われます (たとえば、パスワードフィールドのマスク解除プログラムを使用して) 。

Wordpress のご利用ありがとうございます。

バージョン 6.0.3